

2 質問項目への回答集計結果

調査票の質問項目は問1～問26までの大項目で構成されており、

【1】臨床研修について

- [1] 病院の属性について（問1～問4）
- [2] 研修期間の内訳について（問5～問6）
- [3] 研修中の時間外勤務について（問7～問8）
- [4] 受持症例について（問9）
- [5] 研修への満足度について（問10～問13）
- [6] 説明との異同について（問14）
- [7] 相談体制について（問15）

【2】臨床研修後のことについて

- [1] 研修後の進路について（問16～問17）
- [2] 専門としたい診療科について（問19）
- [3] 専門医等の取得について（問20～問21）
- [4] 将来の進路について（問22）
- [5] 仕事と生活とのバランスについて（問23）
- [6] 大切に思うことについて（問24）

【3】臨床研修で身に付いた基本的な臨床知識、技術、態度について（問25）（追加質問）

【4】臨床研修での経験症例数について（問26）（追加質問）

のそれぞれについて、回答してもらうものである。

本中間報告では、臨床研修後のことに関連する設問を中心に集計を行った。

なお、問18（臨床研修修了後に勤務・研修する都道府県）については、都道府県別の回収率が大きく異なり、実態を反映していない可能性があるため、本中間報告では集計しなかった。

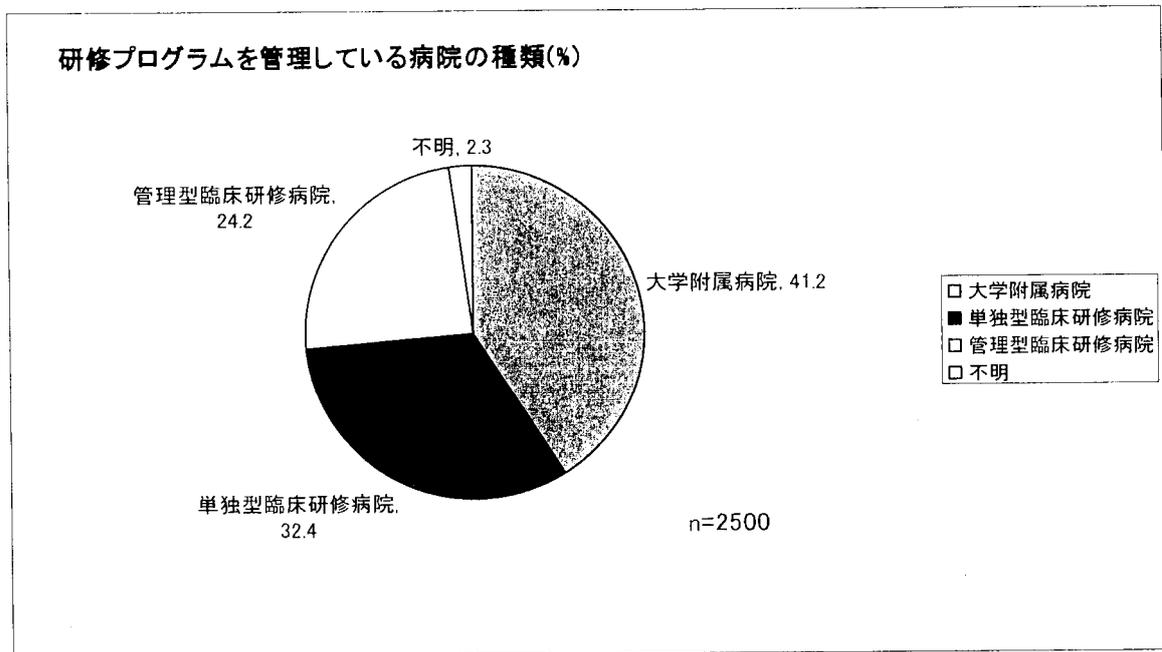
【1】臨床研修について

[1] 病院の属性について（問1～問4）

問1～問4では、研修医の勤務する病院の属性について尋ねた。

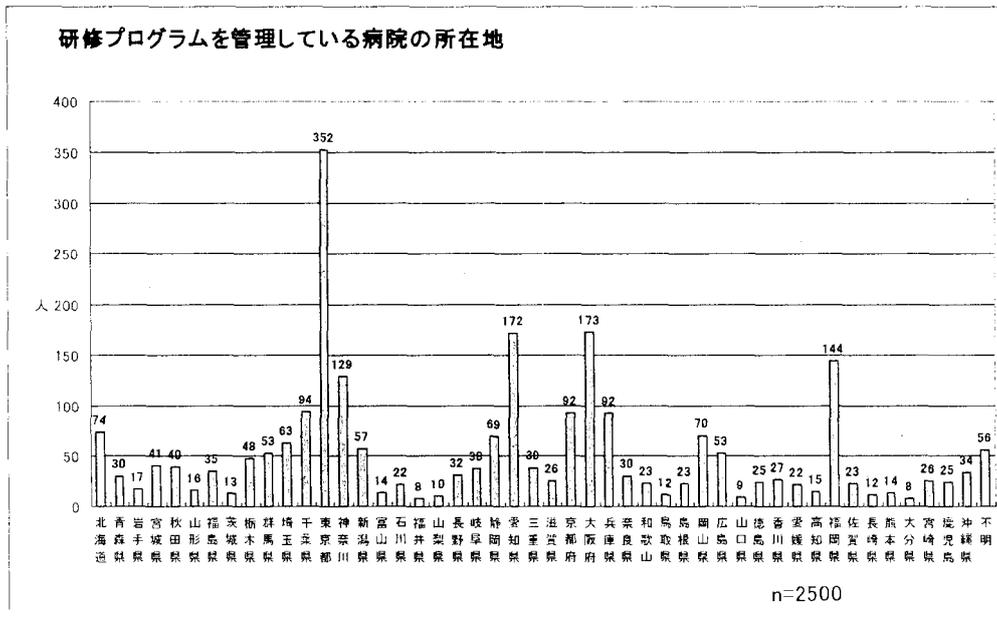
問2 研修医のプログラムを管理している病院の種類

大学病院が41.2%、臨床研修病院が56.6%であった。



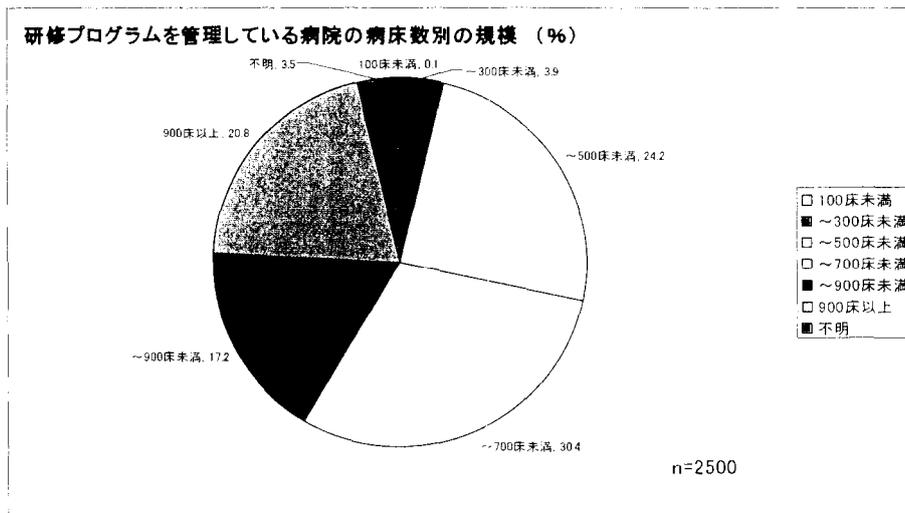
問3 研修プログラムを管理している病院の所在地

最も多いのは、東京都 352 人。次いで大阪府 173 人、愛知県 172 人、福岡県 144 人であった。最も少ないのは、福井県、大分県 8 人。続いて、山口県 9 人、山梨県 10 人であった。



問4 研修プログラムを管理している病院の病床数別の規模

最も多いのは、500 床未満 700 床未満の病院であった。300 床未満の病院も 4.0%あった。

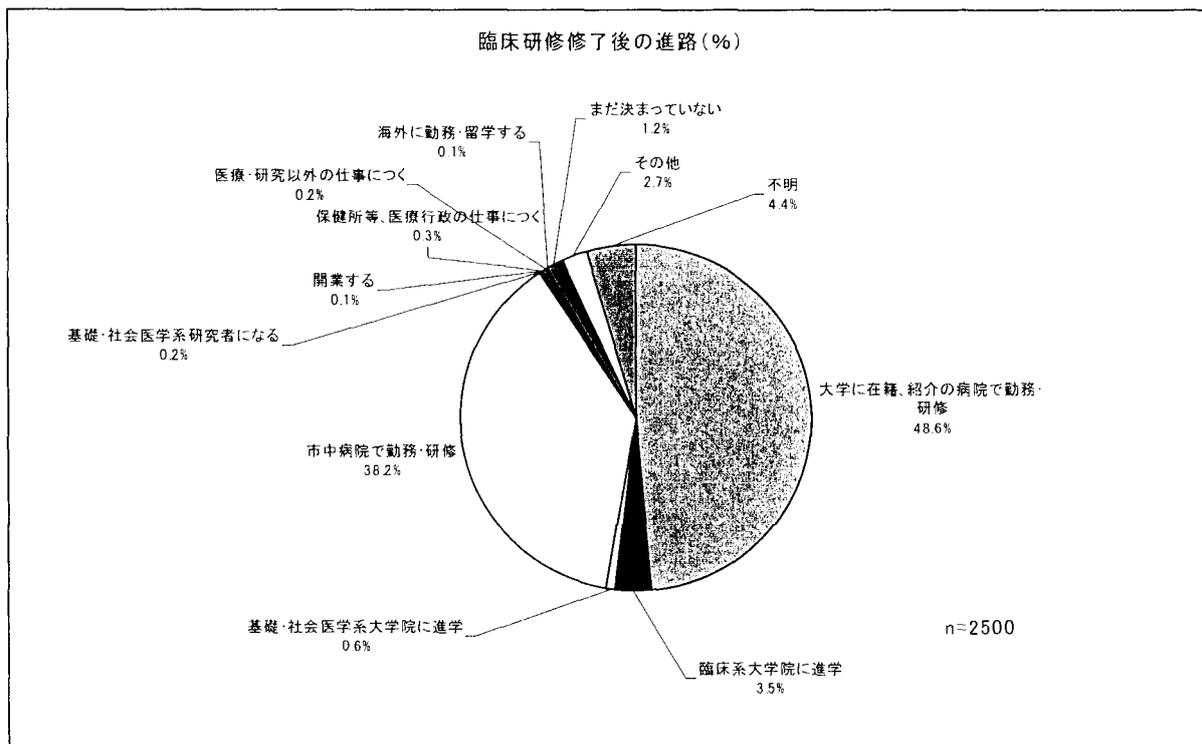


【2】臨床研修後のことについて

〔1〕研修後の進路について（問16～問18）

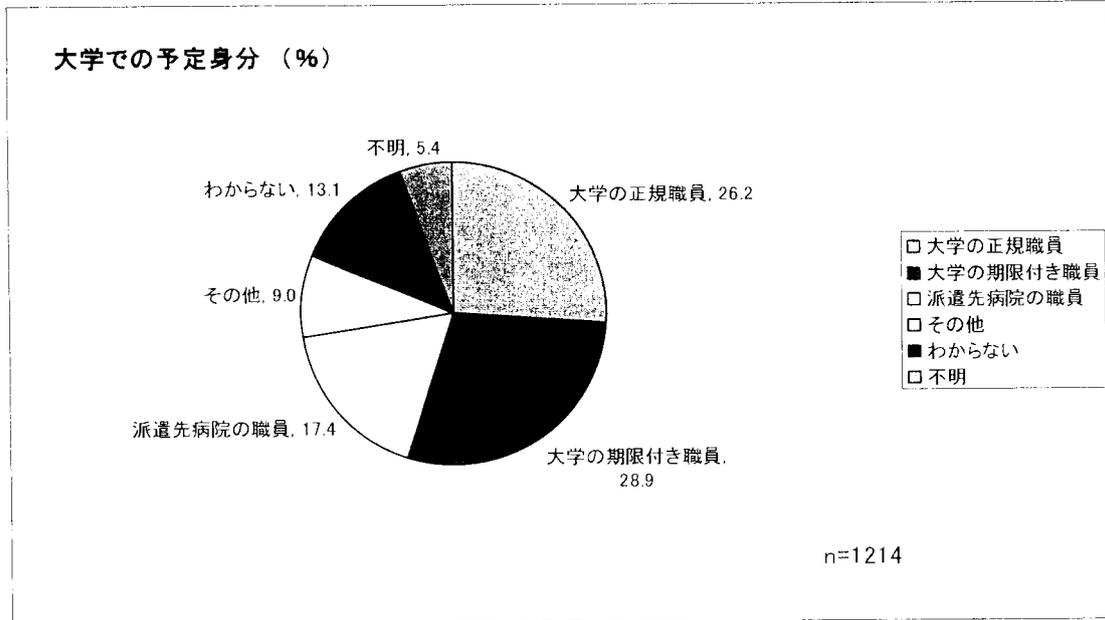
問16 臨床研修修了後の予定

大学病院で勤務・研修を行う者は48.6%、市中病院で勤務・研修を行う者は38.2%であった。



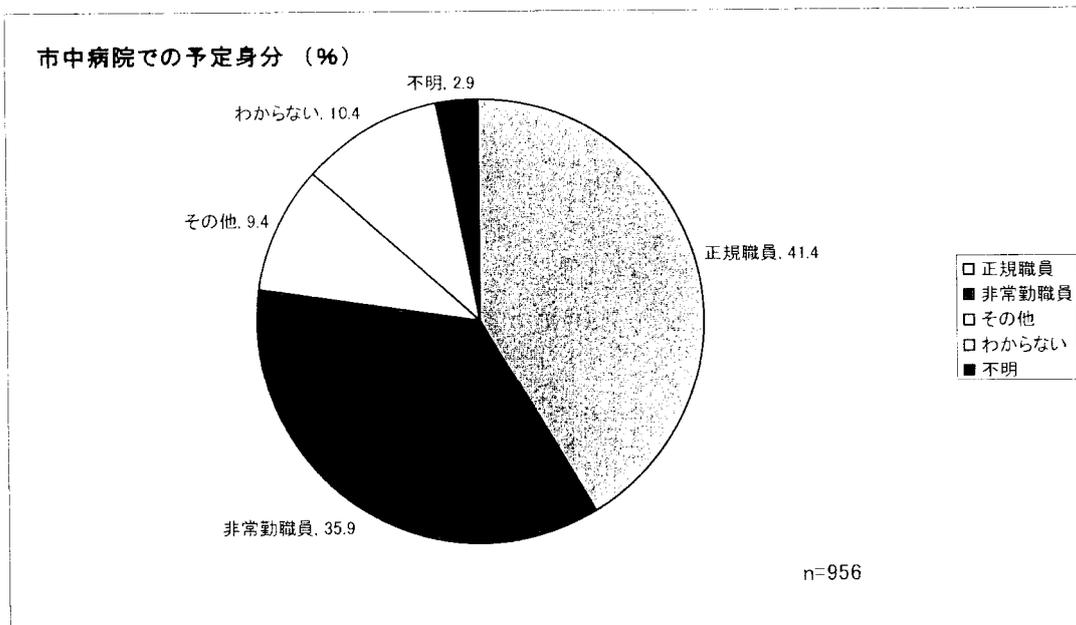
問16-1 大学で勤務・研修する場合の身分

期限付き職員が28.9%、正規職員が26.2%であった。



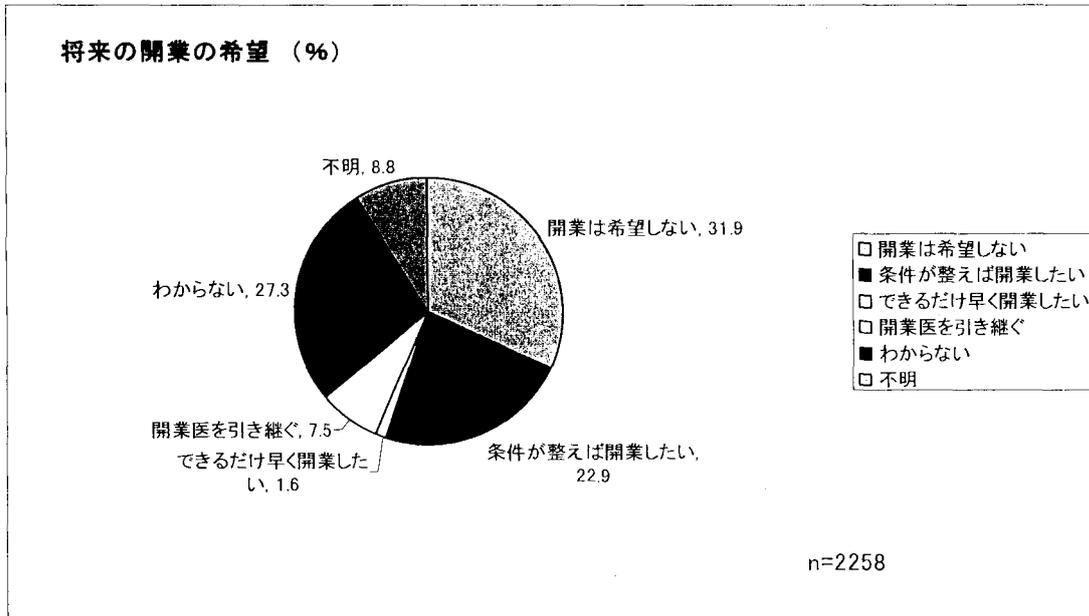
問16-2 市中病院で勤務・研修する場合の身分

正規職員が41.4%、非常勤職員が35.9%であった。



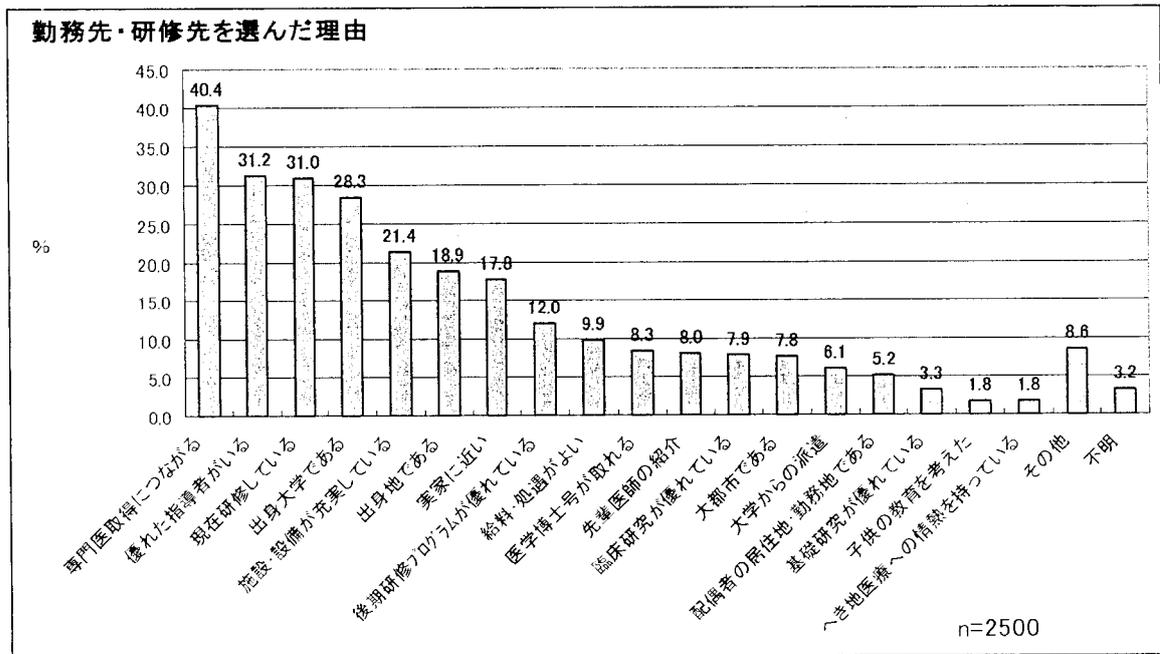
問16-3 将来の診療所開業の希望

将来の診療所の開業を希望しない者は31.9%、開業を希望する者は32.0%であった。



問17 臨床研修修了後の勤務先（または研修先）を決定した理由（複数回答）

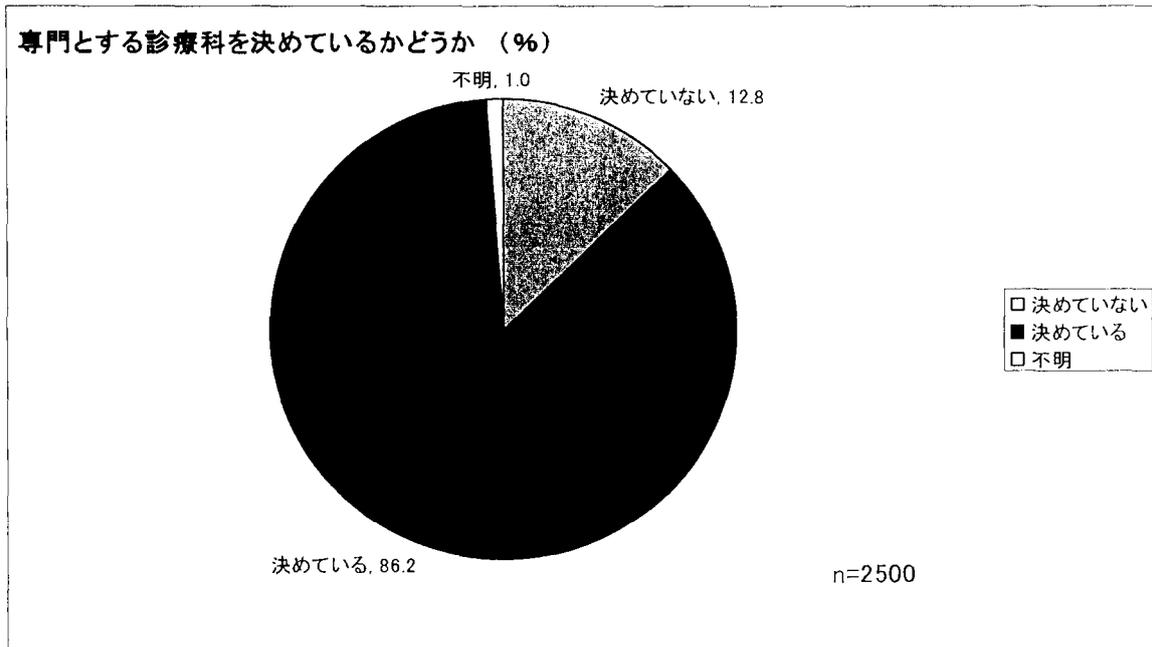
最も多かったのは、「専門医取得につながる」の40.4%。次いで、「優れた指導者がいる（31.2%）」、「現在研修している（31.0%）」であった。



[2] 専門としたい診療科について (問19)

問19 臨床研修修了後に専門とする診療科を決めているか。またその診療科。

86.2%が、臨床研修修了後に進む診療科を決めていた。

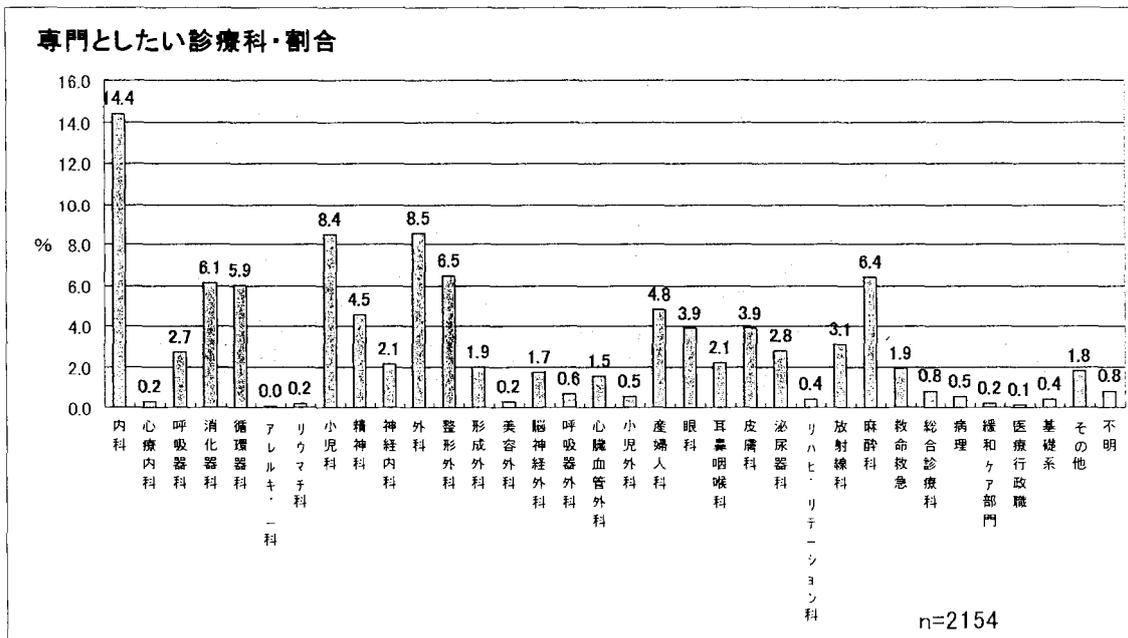


希望する診療科は最も多いのは、内科 310 人。続いて、外科 184 人、小児科 182 人。

整形外科 139 人、麻酔科は 137 人、産婦人科は 103 人。

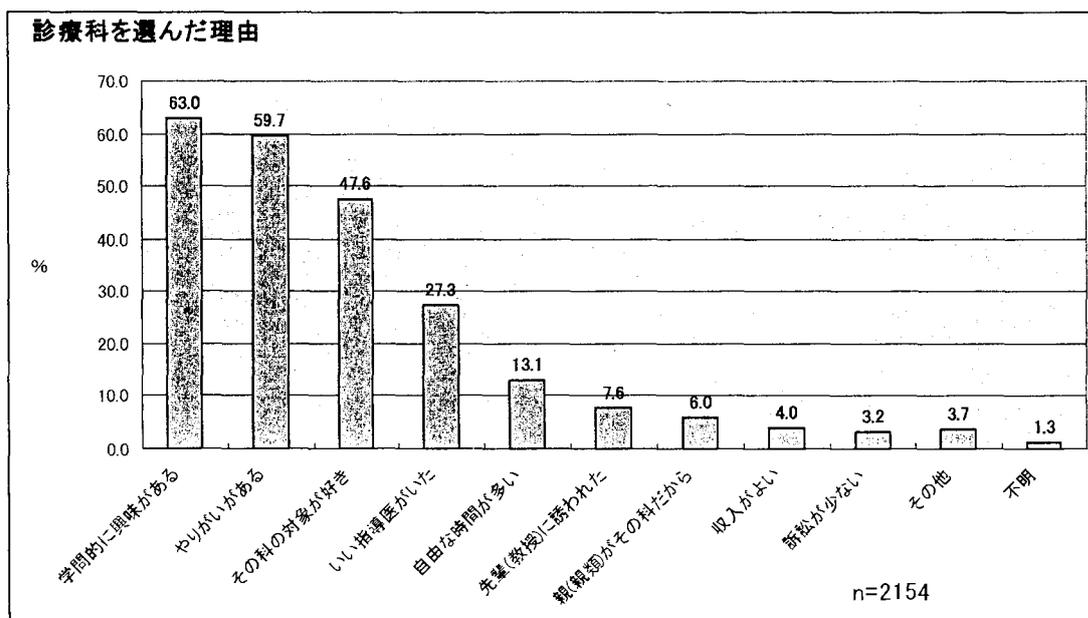
眼科、皮膚科は 93 人、耳鼻咽喉科は 46 人。

診療科	人数(人)	割合(%)	診療科	人数(人)	割合(%)
内科	310	14.4%	救命救急	41	1.9%
外科	184	8.5%	脳神経外科	37	1.7%
小児科	182	8.4%	心臓血管外科	33	1.5%
整形外科	139	6.5%	総合診療科	17	0.8%
麻酔科	137	6.4%	呼吸器外科	14	0.6%
消化器科	132	6.1%	小児外科	11	0.5%
循環器科	128	5.9%	病理	11	0.5%
産婦人科	103	4.8%	リハビリテーション科	9	0.4%
精神科	98	4.5%	基礎系	8	0.4%
眼科	83	3.9%	心療内科	5	0.2%
皮膚科	83	3.9%	美容外科	5	0.2%
放射線科	66	3.1%	ゆづり科	4	0.2%
泌尿器科	60	2.8%	緩和ケア部門	4	0.2%
呼吸器科	58	2.7%	その他	42	1.9%
耳鼻咽喉科	46	2.1%	不明	17	0.8%
神経内科	45	2.1%	全体	2154	100.0%
形成外科	42	1.9%			



問19-1 診療科を選んだ理由（複数回答）

もっとも多いのは、「学問的に興味がある」の63.0%。次いで、「やりがいがある」(59.7%)、「その科の対象が好き」(47.6%)であった。



診療科を選んだ理由

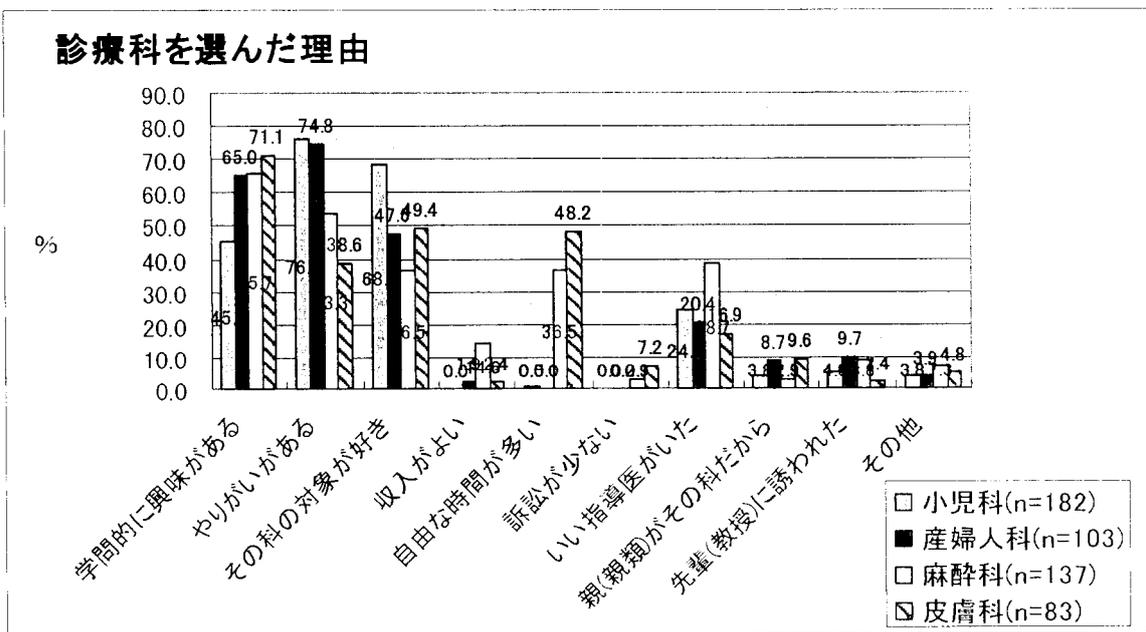
小児科、産婦人科、麻酔科、皮膚科について、その科を選んだ理由を集計した結果は以下の通り。

小児科を選んだ理由として、最も多いのは、「やりがいがある」の76.4%。

産科を選んだ理由として、最も多いのは、「やりがいがある」の74.8%

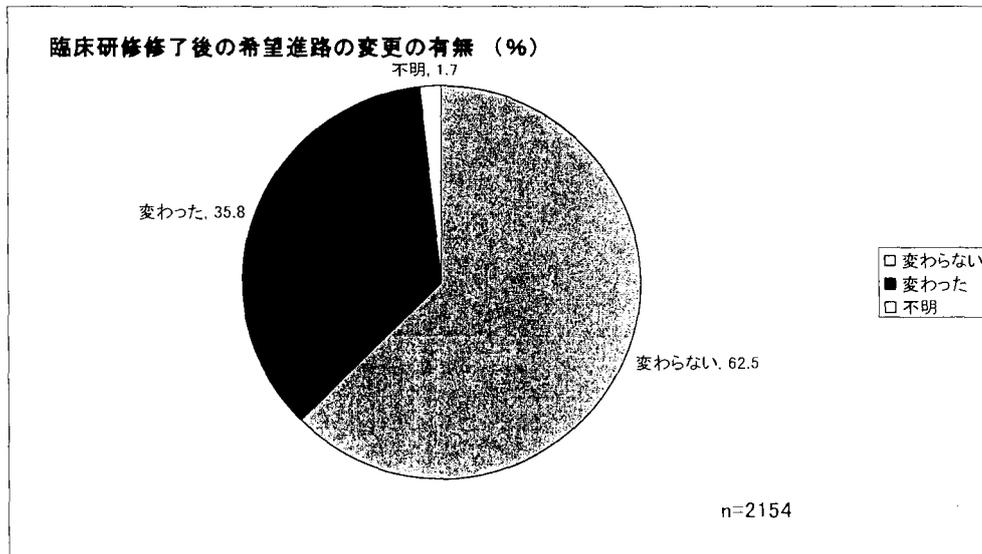
麻酔科を選んだ理由として、最も多いのは、「学問的に興味がある」の65.7%。

皮膚科を選んだ理由として、最も多いのは、「学問的に興味がある」の71.1%。



問19-2 臨床研修の前後で進みたい診療科が変わったか。

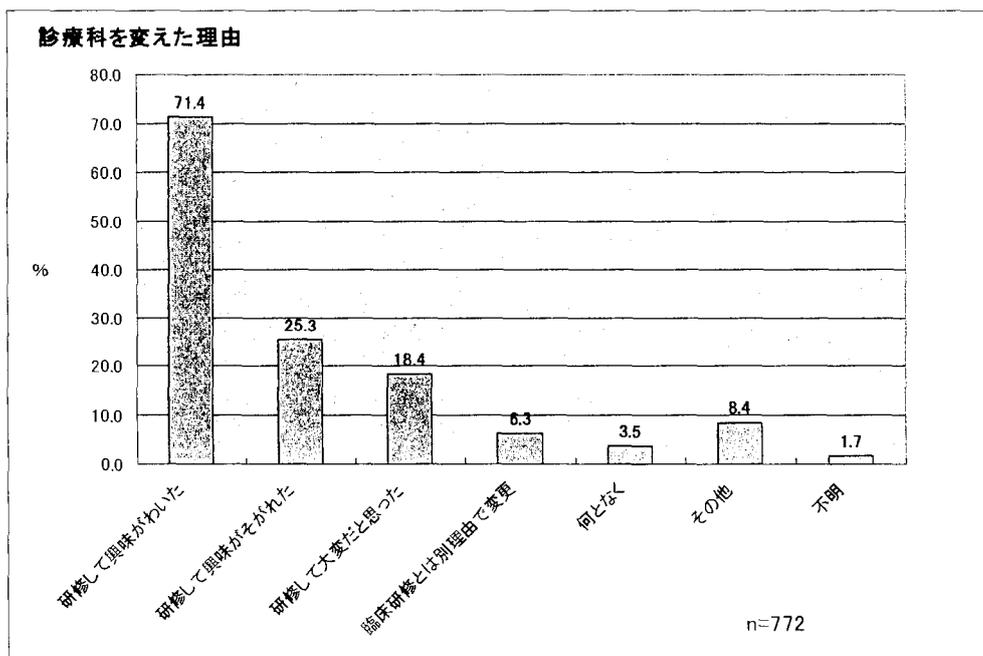
希望する診療科を決めている者のうち、臨床研修の前後で進みたい診療科を変えた者は35.8%であった。



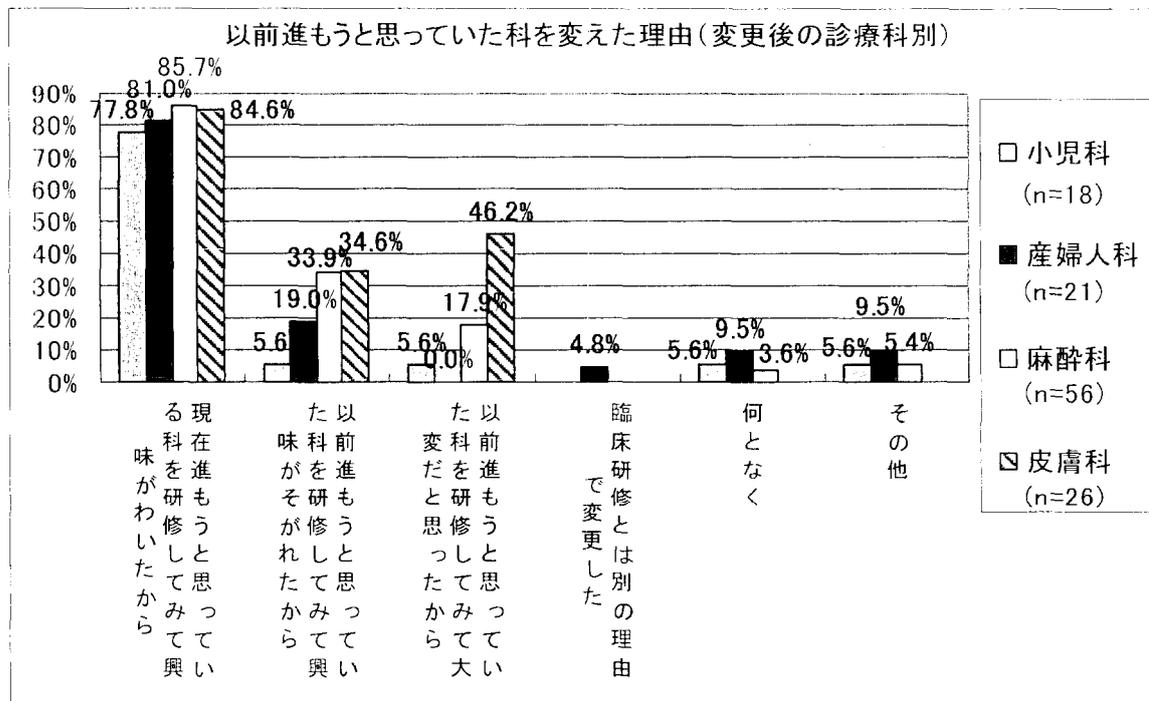
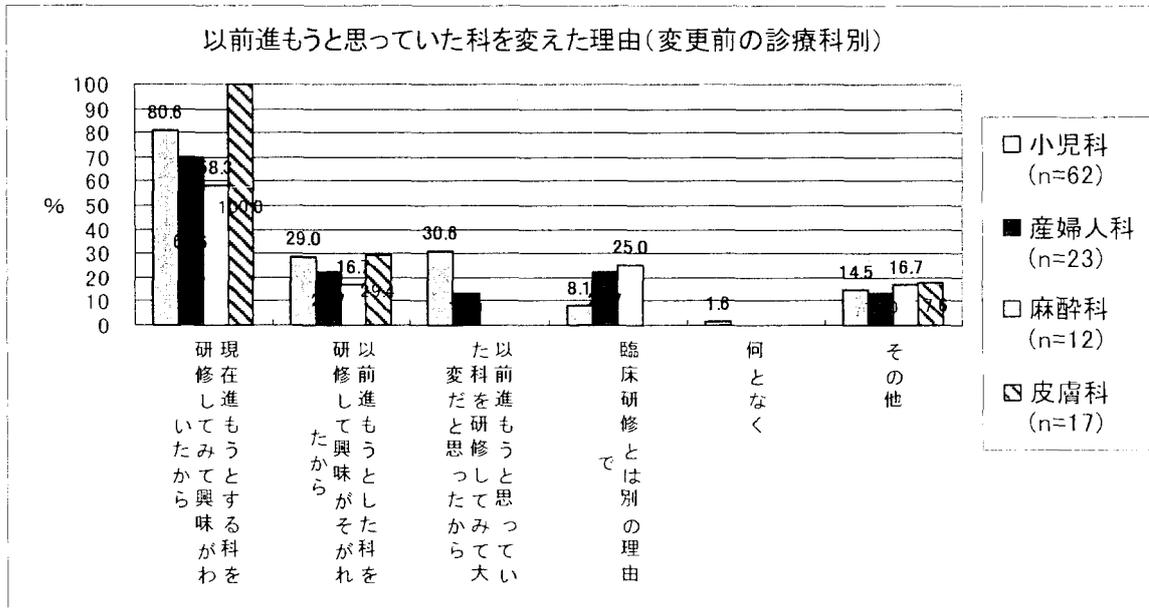
問19-2-2 臨床研修の前後で進みたい診療科を変えた理由

臨床研修の前後で進みたい診療科を変えた理由で最も多かったのは、「研修して興味がわいたから」で、71.4%であった。

「研修して大変だと思った」のは18.4%であった。



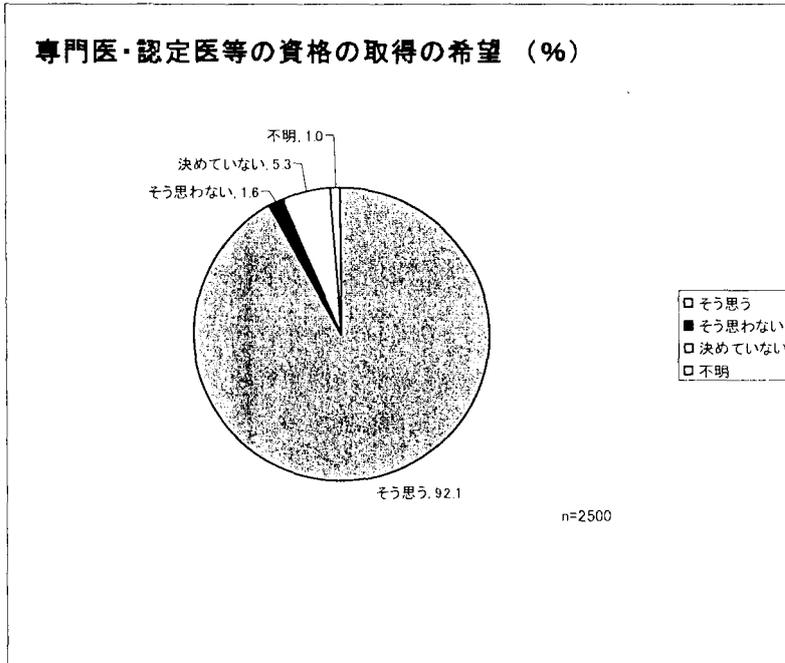
小児科、産婦人科、麻酔科、皮膚科について変更した理由を集計した結果は以下の通り。



[3] 専門医等の取得について（問20～問21）

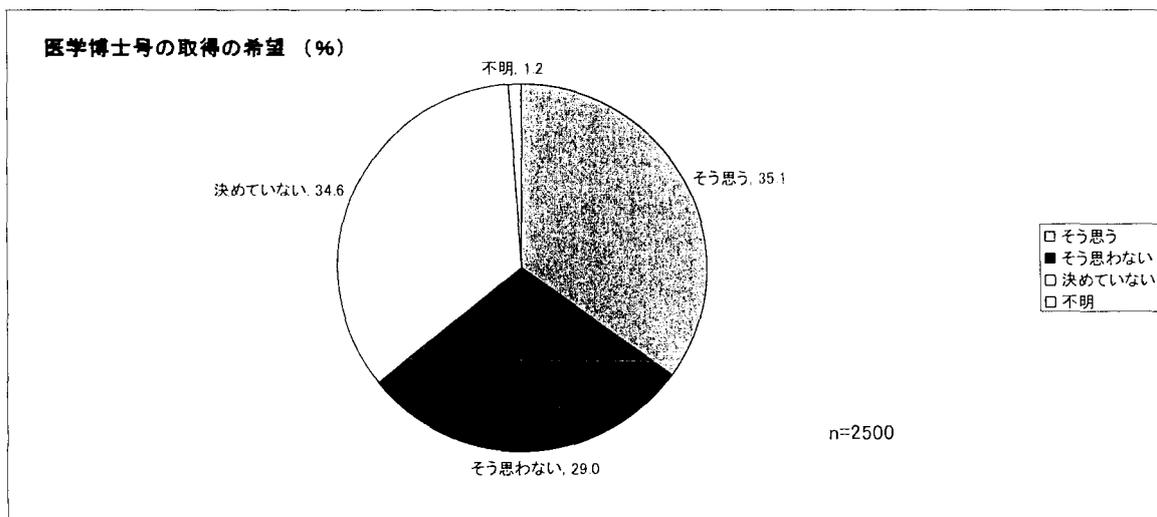
問20 専門医・認定医等の資格の取得の希望

92.1%が取りたいと答えた。



問21 医学博士号の取得の希望

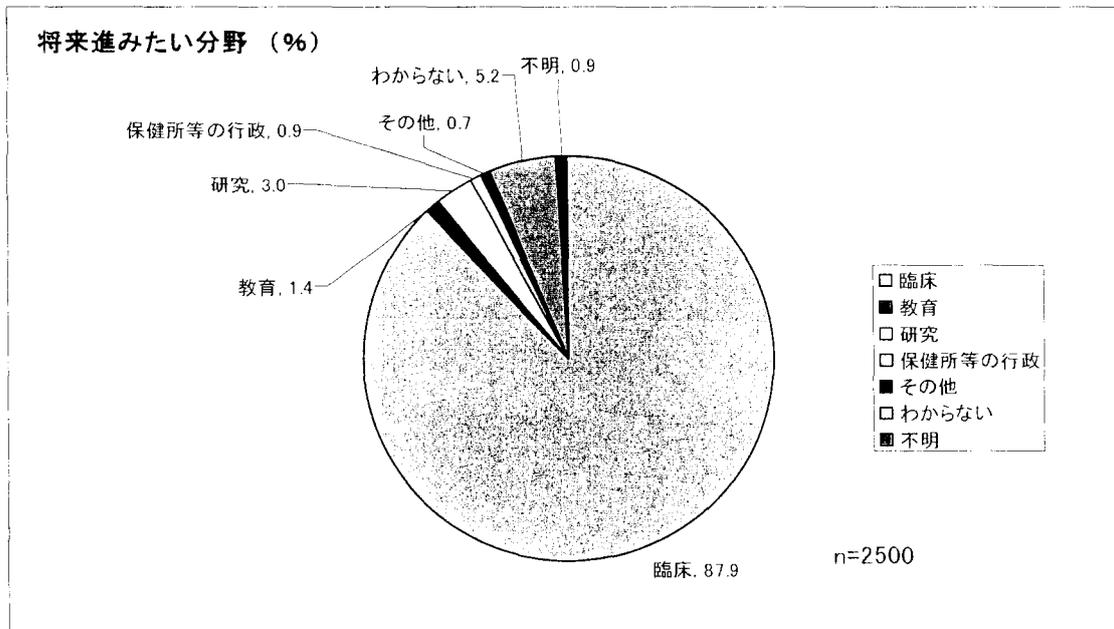
取りたいと思う者が35.1%、取りたいと思わない者が29.0%であった。



[4] 将来の進路について (問22)

問22 将来進みたい分野

臨床に進みたい者が87.9%であった。



問22-1 専門性の範囲

問22で臨床に進みたいと選んだ者に、専門性をどのようにしたいか尋ねた。

「幅広い病気の治療に係わりながらも、特定の分野で、ある程度の専門性を持って診療したい」が40.7%、「特定の診療科の対象患者を幅広く治療する医師として診療したい」が36.1%であった。

